



日本共産党杉並区議会議員

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2023. 1. 12 NO. 364

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ホームページ

2023年 区議選の年

## 大軍拡ノー、区政前進へ 新年からダッシュ!

2023年、新しい年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 「戦争国家づくり」ストップ 9条いかした平和外交を

岸田政権は、敵基地攻撃能力を持つことや、今後5年間で軍事費に43兆円もつき込む大軍拡に乗り出し、「戦争国家づくり」を進めようとしています。

大軍拡を進めれば、暮らしや社会保障の予算は切り捨てられ、大増税が行われることは必至です。



大軍拡・大増税を許さず、憲法9条を生かした平和外交、くらしと営業への抜本的支援の強化で、くらしと平和を守る新しい政治をつくりましょう。

### 逆流許さず、区民のための区政をさらに前へ

西荻窪駅での宣伝

今年4月は区議会議員選挙があり、私は7期目をめざします。今度の選挙は区政を左右する重要な選挙です。

杉並区政は、岸本区長の誕生で、前区長の区



上 阿佐ヶ谷駅での新春そろいぶみ宣伝  
下 杉並地区委員会の党旗開き

民無視の区政から、区民の声をいかす区政へと変わり始めました。高齢者の補聴器購入費助成、家賃助成の実施が表明されるなど、区民が願い、日本共産党が提案してきたことが、実現しつつあります。

一方、前区長勢力による岸本区政の前進を抑えようという策動もあります。こうした逆流を許さず、区民のための区政をさらに前へ進めるためにも、日本共産党区議団は6人から7人へと議席増をめざします。

物価高騰や新型コロナウイルスから、命とくらしを守り、児童館・ゆうゆう館の存続、国民健康保険料の値上げ抑制、学校給食費の無償化など、区民の願い実現に向け、全力をあげる決意です。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

## 家賃助成 補聴器購入費助成等 生活支援の取り組み実施へ

前区政のもとで23区と比較しても、遅れていた施策が、岸本区政のもとで実施、または実施表明されています。党区議団が、前区政時代から提案し続けてきたものです。

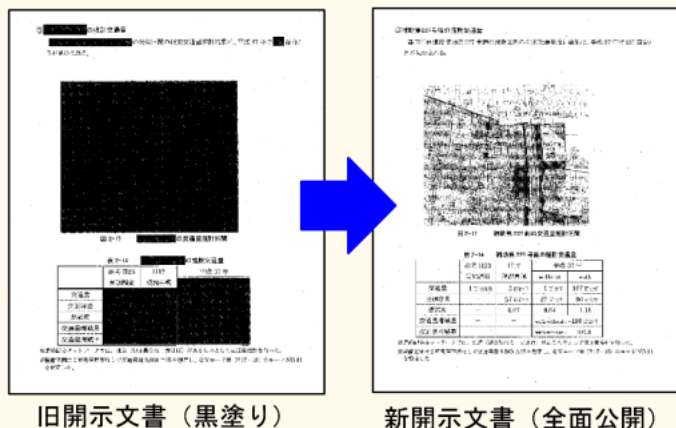
### 前区政と岸本区政の比較

住民生活に関わる施策	前区政	岸本区政
物価高騰に伴う学校給食費 23区中20区値上げせず	値上げ	値下げ
家賃助成制度 23区中19区で実施	実施せず	実施へ 2024年度
高齢者の補聴器購入費助成 23区中17区で実施・予定	実施せず	実施 来年度

## 情報の「原則公開」徹底へ

前区政のもとで、区民や議員が求めた情報開示請求に非開示（黒塗り）が乱発され、開示期間の延長が繰り返されてきました。

党区議団は岸本区政のもとで改善を要請。区長は過去の事例を不問にせず、原則公開を徹底すると表明しました。その後、前区政下で非開示（黒塗り）とされた文書が全面開示されました。



## くらし応援の積極提案

岸本区政のもとで、党区議団は住民生活を守るための積極提案に取り組んでいます。党区議団の提案が区政運営に反映され始めています。

## 国保料連続値上げ抑制を

コロナ禍と物価高騰により、住民の暮らしに深刻な影響を及ぼしている時に、国民健康保険料は連続値上げされてきました。2022年度は前区長のもとで1人当たり5512円の値上げが提案されました。党区議団は値上げをやめるよう求めましたが、議会の賛成多数で強行されました（下表）。

### 値上げ議案に対する各会派の賛否

自民	公明	共産	連携	立民	平和	無維	革新	正理
○	○	×	△	○	○	○	×	○

○は賛成、  
×は反対。  
△は尾議員は反対。  
松

2023年度の国保料についても、前年度比1万9千円の値上げとなる方針（仮計算・繰入無し）を東京都が区に示しました。党区議団は都に軽減を迫ると共に、区が値上げ抑制の努力を尽くすよう求めたところ、区は「負担軽減を検討していく」と答弁しました。

## 住民合意の無い計画は見直しを

区長選挙の重大争点となった区立施設再編整備計画による児童館・ゆうゆう館の全館廃止方針や都市計画道路整備について、住民との対話による検証と見直しを行うよう求めました。

現在、党区議団の提案も踏まえた検証が実施されていますが、既に予算化されている方針などが一部進められる状況もあります。

住民との協議を尽くし、計画の休止も含めた見直しや代替策を検討することを求めています。

## 日本共産党区議団の要望 新年度予算に反映される見込み

現在、杉並区は、2023年度の予算編成を行っていますが、日本共産党区議団が要望した下記の項目について、予算に反映される見込みとなることが、区から示されました。これらは一部

- 補聴器購入への助成制度の創設。
- 学童クラブを増設し、待機児童の解消を図る。
- 不妊治療への助成制度の拡充。
- 带状疱疹ワクチン接種の公費助成の実施。
- 就学援助の支給基準の引き上げ、補助費目の拡大。
- 済美養護学校のスクールバス長時間乗車の解消

ですが、区内の団体や区民の声のもとに、共産党区議団が求めてきたものです。具体的な中身については、2月の第一回定例会に提案される新年度予算案で示されることとなります。引き続き、区民のみなさんの願い実現にむけ、がんばります。